

## 議会改革検討会検討項目の進捗状況について

令和7年3月17日

項 目		検討・実施結果	最終決定日	継続の有無	会派の意見	
1	議員定数・報酬について	議員定数	全員協議会を2度開催し、現状維持とするが、定数の基準づくりへの意見や報酬等審議会からの付帯意見を重く受け止め、社会情勢に応じた検討及び議会改革を推し進めていくこととした。	R6. 11. 29	継続	(新緑) 基準を設ける議論を進めていきたい。 (公明) 基準づくりを含めて議論を尽くしていく必要がある。 (民主) 報酬等審議会の内容を踏まえて、例えば、もう一年引き続き議論を続けてもよいのではないかと考えている。 (改革) 報酬等審議会からの意見もあり、継続協議していきたい。 (共産) 報酬等審議会からの意見もあり、議論するのは大事だと思うが、決めるのは改選後の新たな議会で行うべき。 (会派市民) 前半2年間で議論してきたので尊重したい。基準づくりについては、これからの2年間で議論をしていくべきと考えている。
	議員報酬	見直す方向で決定し、報酬等審議会への諮問について市側に要望書を提出。当該審議会での審議を経て、令和6年度から増額となった。	R6. 3. 15	—	—	
2	議会のICT化の推進について	オンライン会議のルール化	実務者会議で具体案を協議	—	継続	
		委員会条例の改正	令和5年12月定例会で可決	R5. 12. 15		
		オンラインでの一般質問の実施	令和7年2月定例会で規則等の改正	R7. 3. 17		
		オンラインでの質問通告	令和6年6月定例会から運用開始	R6. 3. 15		
		議員配布資料のデジタル化	令和6年6月定例会から運用開始	R6. 3. 15		
議会運営	全員協議会での議員間討議について	議員定数を議題として、令和5年11月及び令和6年11月に全員協議会を実施。	—	—	—	
3	市民と議会との関係	市民との意見交換会の活性化	常任委員会単位で実施することとした。 【実施日】 R6. 1. 26 文教経済委員会 R6. 7. 10 建設委員会 R6. 11. 14 厚生委員会 R6. 12. 20 総務委員会	—	継続	(公明) 議会全体として、市民の代表とのワークショップ形式での実施や中高生を対象とすることで議会活性化につながると思う。 (改革) 若者に議会に関心を持ってもらうことや投票率向上を狙いとして高校生、20代等若年層を対象に行いたい。 (共産) 若者との懇談会のようなもののほか、白老町のように議会側が地域に向くような取組も検討できたらと考えている。
4	質問時間の見直しについて	議案及び各委員会の質疑時間、代表質問の在り方			継続	
5	委員会の在り方について	委員会の数、委員会の複数所属			継続	(新緑) 議論が必要。 (公明) 複数所属や委員会の数について議論が必要。 (民主) 委員会の複数所属について必要だと考えている。 その場合は、議会日程を延ばすことも必要だと考えている。 (共産) ぜひ議論したい。 (会派市民) 人口減少により定数減を行う時期は来ると思うので、認めていかないと議論が深まっていかないと考えている。
6	予算・決算委員会の在り方について	一般会計と企業会計の審議日程、時間のアンバランスの解消			—	(公明) 議論が必要。 (改革) アンバランスの解消について検討すべき。 (共産) 款ごとに割ることはできないかを含めて議論できたらと考えている。 (会派市民) 法律等でできるようにしかできないが、人数の配置等を工夫したらよいのではないかと考えている。
7	議会BCPの策定について	公明党議員団の提案を基に完成	R6. 11. 29	—	—	—
追加	委員会視察について				新規	(公明) 常任委員会視察を隔年にしたり、議会運営委員会視察を必要が生じた場合にしてはどうか。